



学校だより

令和5年11月30日
横浜市立茅ヶ崎東小学校
校長 宮本 仁志
都筑区茅ヶ崎東2-11-1
Tel 943-0802・0803

学校教育目標『笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子』

気になる省略した言葉

校長 宮本 仁志

毎朝、貝塚造園前の横断歩道で旗振りをしながら、子どもたちとあいさつを交わしていますが、最近はずっかりと寒くなってきていて、ジャンパーやマフラーなどを着て学校に通ってくる姿も見られるようになってきました。先日の朝会で「ポケットに手を入れたまま歩くと、転んだ時にとっさに手が出なくて、地面に顔をぶつけてしまうなど大きなけがにつながるので気をつけましょう」という話をしました。寒い時には、手袋などがあると良いかもしれません。朝晩は気温も下がってきています。うがい手洗いなどをしっかりと行い、風邪などをひかないように気をつけてください。

先日、自宅近くで中学生ぐらいの男子が「あっ、ごみが来るぞ」と言っていました。何のことかと思って振り返ると、ごみの収集車がやってくるころでした。もしも、収集の人たちがその言葉をきいたら、どう思うでしょうか。「私たちはごみではない」と怒るかもしれません。しかし、日常を振り返ると何の気なしに使われていますが、よく考えてみるとおかしな言葉があります。レストランなどで注文するときにも「私、ハンバーグ」と言ったり、家の中でも「テレビ大きくして」や「頭切ったんだ」などと言ったりします。しかし、日常生活では、これでも通じてしまうのですから不思議なことです。学校でも「先生、トイレ」や「先生、プリント」という言葉を聞きます。その場合は、学校でもいい直しをさせたり、正しい言い方を伝えたりしています。

現在の子どもたちは語彙不足と言われています。中学生の語彙が少なくなっていることは、文部科学省の国語審議会でも次のような指摘がされています。昭和30年代で25,000語弱、平成に入ったころで20,000語、現在では15,000語を話す生徒すら少なくなっているということです。また、「見られる→見れる」「着られる→着れる」などの「ら」抜き言葉が増えていることも話題に上がったことがあります。他にも本来ならば「全然」のあとには「～～ない」などの否定の副詞が続くはずなのですが、「全然・・・かっこいい」などと使われていたり、「超」のあとには名詞がついて「超満員」などのように使われるのですが、「超・・・かわいい」などと使われていたり、間違った使い方をされている例なども紹介されています。

このような現象は、少し前から言われています。日頃から、使う言葉を省略して話をしているからなのでしょうか。そのためかどうかはわかりませんが、作文を書くことが苦手だと感じている人が多くなっているそうです。12月に入り、もうすぐ冬休みになります。お正月には、親せきなど多くの人と話す機会も増えてくることでしょう。正しい言葉を知り、省略しないで話ができるような茅ヶ崎東小学校の子どもたちになってほしいと思っています。本校の学校教育目標である「笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子」を皆様と育んでいきたいと思ひます。保護者の皆様や地域の皆様の学校教育に対するご理解・ご協力を感謝いたします。引き続き、よろしくお願いいたします。